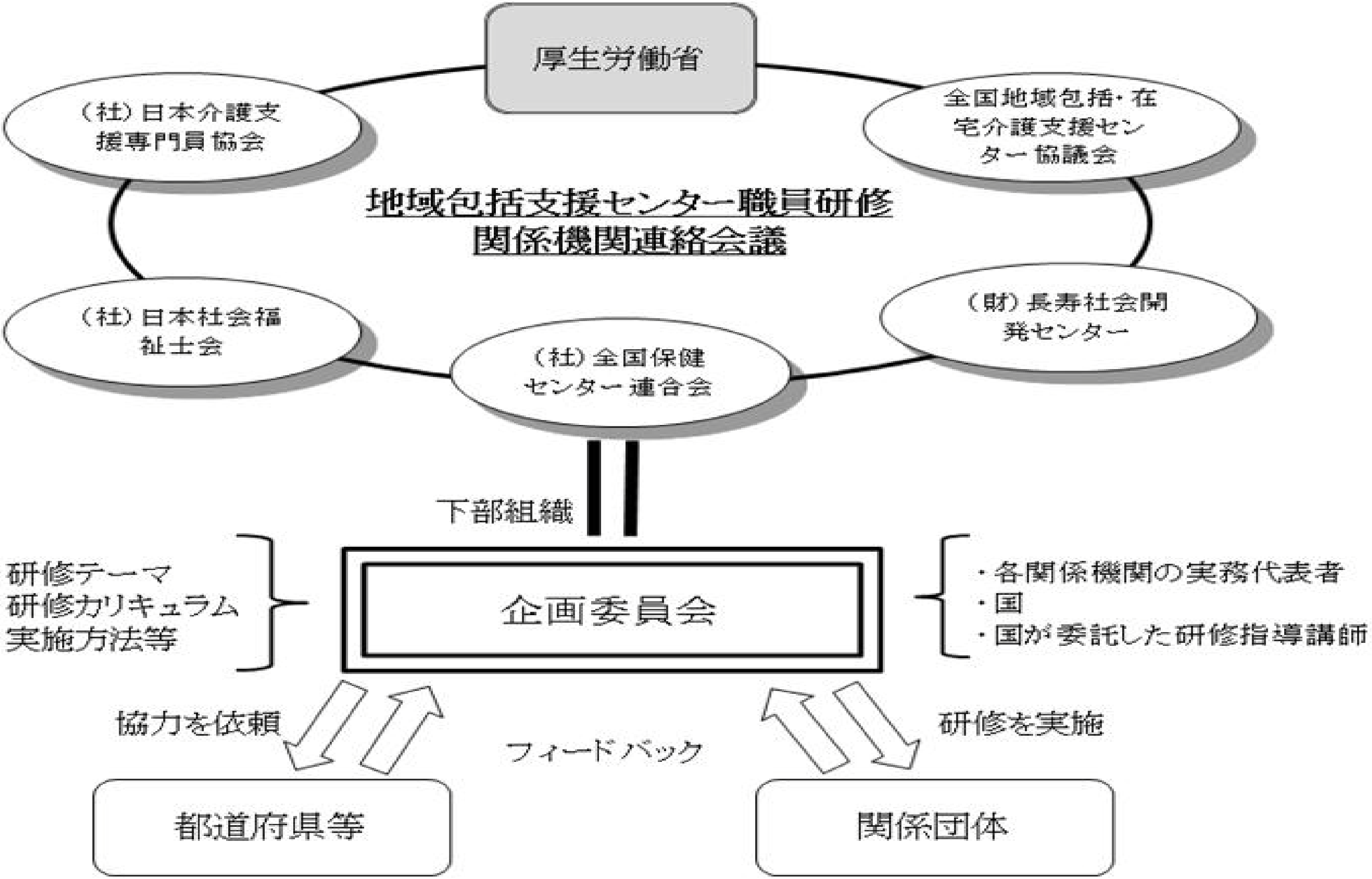
地域包括ケア推進指導者養成研修事業

地域包括ケアの考え方を踏まえ、地域包括支援センターの一体的な運営や地域のネットワーク構築の中心を担う職員を養成するため、地域包括支援センター職員等を対象に中央研修及びブロック研修（全国１２ブロック）を実施する。

	中央研修	ブロック研修
内容	地域包括ケアネットワークの中核となる他、ブロック研修等の講師となる人材を養成する研修（講義・グループワーク）を行う。※修了後振り返り研修を実施	全国を１２のブロックに分割し、各ブロックにおいてチーム力の向上とネットワーク構築のための研修（講義・グループワーク）を行う。
対象	都道府県が推薦する地域包括支援センター職員等 １５０名程度	各ブロックに含まれる都道府県内の地域包括支援センター等 １，５００名程度（原則先着順）
時期・日程等	平成22年10月13・14日 10月27・28日	平成２２年１１月～平成２３年１月　２日間・全国で合計１５回
会場	東京都内	各ブロック内

地域包括ケア推進指導者養成研修事業の運営

地域包括支援センター関係5団体及び厚生労働省からなる「地域包括支援センター職員研修関係機関連絡会議」により研修の実施内容の策定、テキストの作成等を行う。



研修のねらい（センター長等の役割）

○　我がセンターはどこに向かっている？どこに向かえばいい？（センターとしての方向性）

○　組織と地域と政策のマネジメントに生かせる手法（方向性の具現化、仕組みとしての構築）

○　共感する、ヒントを得る（自分のセンターで生かすとしたら・・・）

○　ＰＤＣＡで磨きをかける（まずは実践、その後のブラッシュアップ）

組織で広める、地域で広める（伝道師）

中央研修のねらい

○　皆さんは指導者でもあり、指導者の指導者でもある（中央研修とブロック研修）

○　ブロック研修での指導者役（地域ケア会議の模擬実践（ロールプレイ）における指導者）

○　家に着くまでが遠足です（スキルの定着、振り返り研修）

実践レポートの提出

○　研修を受講して、スキルとして、あるいは仕組みとして定着させることが最終的な目標です。

○　研修修了後、実際の業務にどう生かしたか、その中で課題として感じたことや課題を解消していくための今後の方向性についてレポートとしてご提出いただきます。

○　様式や提出方法等については後日送付いたしますが、研修修了者は必ず提出いただく予定です。

振り返り研修

○　中央研修修了者を対象に、現場での実践を踏まえた振り返り研修を行います。（今年度中には実施する予定です）

○　中央研修で習得したことを、実際に業務の中で活用してみて、改めてどういった“壁”があるのかなど参加者で共有し、その“壁”の乗り越えるにはどうしていけばいいかを考える場とする予定です。

○　カリキュラムや応募方法など詳細については別途ご案内いたしますので、積極的にご参加ください。